

○議長（茅沼隆文）

引き続き、一般質問を行います。

それでは、3番、湯川洋治議員、どうぞ。

○3番（湯川洋治）

皆さん、こんにちは。3番議員、湯川洋治でございます。

通告により、2項目、質問させていただきます。最初に開成駅東口施設「ぷらっと・かいせい」の活用状況について伺います。

開成駅東口施設「ぷらっと・かいせい」の1階部分に今年2月、コンビニエンスストアがオープンし、駅東口の活性化に大きく寄与しているところでございます。平成28年9月の定例会議の一般質問で平成28年4月に開設された「ぷらっと・かいせい」の利用状況を確認し、特に駅前窓口コーナーにおける取り扱い業務の拡大については町民の要望を含めて意見を述べさせていただきましたが、その後、早速、証明書の発行だけでなく、粗大ごみの処分の受け付けや町民カレンダーの配布などの対応をいただきまして、大変便利になったという声を聴くようになりました。

この施設は高額な賃借料を支払っている施設であり、活動が停滞しないように常に利用者である町民のニーズを的確に捉え、できるだけ多くの町民に利用していただけるようお願いしたいと思います。まもなく1年が経過しようとしている中で、現在の窓口コーナー、子育て支援センター及びパレットガーデン自治会館の利用状況等について伺います。よろしくお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、湯川議員の御質問にお答えをいたします。

開成駅東口の「ぷらっと・かいせい」とパレットガーデン自治会館の利用状況については、昨年9月定例議会一般質問でも答弁をさせていただいたところであります。本年2月には、この施設の1階にコンビニエンスストアもオープンいたしましたが、このような人が集える施設がさらに続いてオープンすることで、にぎわいのある街並み形成が促進されることを私は期待をしております。また、駅近の子育て支援センター、駅前窓口コーナー及びパレットガーデン自治会館の3施設は、定住促進策等と絡め、これからの駅前の街づくりを展開していく上で重要な要素の一つであると考えております。

それでは、個々の施設の利用状況について、お答えしていきたいと思います。

開成町駅前窓口コーナーは、議員も御存知のとおり、昨年4月の開設以降、税務窓口課事務所の分室的機能として、住民票、戸籍関係証明書、印鑑証明書及び納税証明書の四つの証明書の交付窓口としてスタートいたしました。昨年11月から取り扱い事務の追加をして以降の利用実績は机上配付の資料のとおりであります。10月までの7カ月の月平均利用件数が137件であったのに対し、取り扱い事務を拡大した11月から1月末までの月平均利用件数は229件で、92件、67%

の増加となっております。利用者の方からは、住民票を取りに見えられた方が粗大ごみの申し込みを一緒に手続され、「助かります」との声などもいただいております。今後は、利用者の声や利用状況を踏まえ、より充実した開所内容となるよう随時検討を加えながら効率的な運用を図ってまいります。

続きまして、子育て支援センターであります。子育て支援センターの月別利用状況の内訳は机上配付の資料のとおりであります。事業を開始し本年1月までの間に延べ3,843組、8,664名、1日平均で18.4組の方にご利用いただいております。想定していた1日20組程度の利用目標は、おおむね達成できているという状況にあります。

これまでの間には、専門職である歯科衛生士、作業療法士、栄養士、保健師などによる専門相談の実施や幼稚園園長を講師に招いた子育て講座を実施しております。そのほかには、少人数の保護者同士でお茶を飲みながら気軽に子育てを相談できる場として「赤ちゃん和妈妈のティータイム」の実施に加え、七夕、クリスマスなど季節にあわせたイベントを実施するなど、利用者に寄り添ったきめ細かな事業を展開してきております。ご利用の方からは、「そんなに広くなく幼児と乳児スペースが分かれていて安心して過ごせた」、「いつも安心して楽しく過ごしている」などの声が寄せられております。

開成町での特徴的な利用状況として、父親の来所が多く、男性でも居心地の良い場所となるような配慮をさせていただいております。特に、第2土曜日に父親が来所したケースは全体で延べ59組であり、土曜日の来所者の37.3%にあたります。町外からの利用者の状況は平均すると19.4%となっておりますが、開成町の実家などに里帰りした親子の利用や駅近という環境から小田急線を使い、来所される親子も多く、開成町への定住化に向けたきっかけづくりになると期待をしております。

昨年4月のオープンにあわせ同施設内に移設したファミリー・サポート・センターの相互援助活動では、移設前である平成27年度が161件であったのに対し、平成28年度は1月までの10カ月で281件と、おおむね2倍の実績となる見込みであります。これらの機能は、個々の親子への現場での支援でだけではなく、町と連携し子育てに特に支援が必要な家庭への支援ツールの一つとしても役割を果たしているところであります。

また、来所者の利便性向上を図るため、平成28年5月には町内巡回バスのバス停を「ぷらっと・かいせい」前に設け、現在では1日7便が運行され、来所にも利用されております。さらに、平成29年1月からは駅東側町有地を活用した臨時駐車場を整備し、来所しやすい環境の整備に努めているところでもあります。

次に、パレットガーデン自治会館についてお答えをいたします。

パレットガーデン自治会館は、自治会の地域における地域集会施設として、指定管理者のパレットガーデン自治会が定めた使用規程に基づき維持管理、運用を行っております。パレットガーデン自治会館の利用形態としては、組長会議等を含む自

治会の役員会、いきいき健康体操、各種サークル活動等に使用されております。昨年9月以降、自治会の会議以外で主な行事としては、9月に敬老会、10月に文化展が開催されております。

新たな取り組みとしては、自治会福祉部の取り組みがあります。親子に対する本の読み聞かせを実施する際に、事業の事前周知、参加者の斡旋など、「ぷらっと・かいせい」の子育て支援センターと連携した事業展開を図っております。こうした取り組みで、自治会館の有効利用にも努めているところであります。パレットガーデン自治会からは、「自分たちの施設であり気兼ねなく利用できている」との御好評をいただいております。また、駅近で住居からも近く利便性が高いことも、利用者の声としていただいているところであります。なお、施設運用の面から、指定管理者として自治会活動以外の一般利用を促しているところで、町としては、指定管理者であるパレットガーデン自治会に利用拡大について引き続き促しをしていきたいと考えております。

以上であります。よろしくお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

まず、冒頭、私、議員になって2年目ですので、今まで私が質問してきたことの言いっ放しではなくて、再度確認という意味で今回質問させていただきますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

「ぷらっと・かいせい」につきましては、駅前窓口コーナー、子育て支援センター、パレットガーデン自治会館があるわけですが、まず、昨年の9月に冒頭申しあげましたように質問させていただいたわけですが、特に窓口コーナーにつきましては、質問をして即検討、それから、9月に質問したのですが、11月のお知らせ版で周知という大変迅速な対応をしていただいたということは、大変、私、ありがたいと思っています。ましてや、利用者の方から大変良かったという声も大分聞いております。まず、冒頭、申しあげておきます。

利用状況を見ますと、月々の平均利用件数が10月までと業務拡大した後では67%増と。この辺の増え方を窓口コーナーとしてはどういうふうに捉えられているか、お聞かせください。

○議長（茅沼隆文）

参事兼税務窓口課長。

○参事兼税務窓口課長（鳥海仁史）

11月に業務の拡大をいたしましてから67%の増ということで、私どもとしては予想を上回るような実績であったと理解をしてございます。ただ、まだまだ利用実績は伸ばしていきたいと考えているところではございますが、住民の方からも御要望等を聞いた中で、実施できるところから考えていきたいと思っています。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

今、課長答弁をいただきましたけれども、本当にこの数字に私も驚いていまして、67%増というのは驚異的な数字かなと思っています。質問して良かったなと本当に思っています。

いただいた資料、役場の窓口と比較しまして全体の利用状況では大体10%、粗大ごみは19%もあるのです。約20%。これは、やはり窓口コーナーで、あそこで受け付けをして、20%の方が、あそこでごみの受け付けをしてくださるということで、非常に町民にとっては素晴らしいことかなと思っています。本当に窓口コーナーさんの対応には感謝しております。

私も、窓口コーナー、何度か利用させていただきました。実に職員の方が素晴らしい。まず、「いらっしゃいませ」です。役場に行って「いらっしゃいませ」と言われたことはないです。やはり、ここが大事なのです。こういう対応をしていただくと、別に私は役場の人の対応が悪いと言っているわけではないですよ、窓口コーナーの対応が素晴らしいので、今後とも、そういう対応はぜひ進めていただきたいと思います。

窓口コーナーはこの辺で終わりにさせていただいて、次に子育て支援センターです。各自治体で来年度予算案が新聞等で発表されていますけれども、子育て支援を柱とした予算の取り組みが大変、目につきます。開成町でも支出において三本柱の一つに子育て環境の充実ということで挙げられておりますけれども、まさに「ぷらっと・かいせい」、子育て支援センターを核として取り組んでいただきたいと思います。

利用状況を見ますと、他町からの利用者が平均すると19.4%といただいているのですけれども、この点はどのように捉えているか、お聞かせください。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

資料にも若干、書かせていただいておりますが、他町にお住まいの方の利用が大体2割ぐらい、平均して2割ぐらいになっているという状況でございます。こちらにつきましては、年末年始等を利用した里帰りの方が、まず開成町にお帰りになったときに御利用いただいているという実績、それから駅近で小田急線を使って、特に多いのは小田原市からの方が多いと聞いております。ということは、小田原市でもそれなりの施設があるのですが、開成町のほうが来やすいといった状況があるのかなと思っております。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

町長の答弁にもありましたように、将来、この町に住んでもらいたいという意味では、どんどん利用していただければと私も思うのですけれどもね。他の町の利用者が多ければ多いほど良いというわけでもないのですけれども、趣旨からいって開成町の町民の方の相談件数が多ければ多いほど良いというわけでもないわけです。だから、その辺で取り合いが非常に大変だとは思っているのですけれども、ぜひ、他町の方がここに来ていただいて、この施設が良かったと、ついでに、この町も良いということで、将来、開成町に定住していただけるような方策をとっていただければと思います。

また、ファミリー・サポート・センター、この実績も27年度が161件に対して28年度ではおおむね2倍の281件を見込んでいるということですから、この見込みについてどのようにお考えになっておられるか、お聞かせください。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

お答えいたします。

平成28年度からファミリー・サポート・センターの事務所を「ぷらっと・かいせい」に移設させていただいたわけですが、その際に、やはり支援センターに来られた方が、まずファミリー・サポート・センターの存在を改めて知っていただくという機会が増えたのかなと思っています。その上で、支援センターの中で御相談していただいた結果としてファミリー・サポート・センターの利用をされているといったような、相乗効果と捉えております。そういったことで、結果として、それまでの約2倍の実績に今年度はなるのではないかと見込んでおります。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

子育て支援センターそのものが全体的に数字が上がっているということは、大変、私も素晴らしいことだと思います。今後も、この数字がどんどん伸びていただければと思います。

この1月に下にローソンができて、コンビニの対応によっては駐車場が少ないということで臨時駐車場を設けられていますけれども、私、何度か見ているのですけれども、全然利用がないように感じているのですけれども、周知はどうされているのですか。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

お答えいたします。

1月に設けた臨時駐車場の周知の関係でございますが、まずは施設内に日常的に来られている方、こちらの方にきちんと周知をしていこうということで、掲示物を

施設内に掲示したりですとか、配付物の中にそういった御案内を入れているといった状況でございます。私ども、ちょっと危惧しておりますのが、町内・町外に向けて大々的に発信した結果として、駐車場があるということで特に町外から一気に人が押し寄せるといったようなことがあると、なかなか町内の方の利用にも御迷惑をかける部分が出てくるかなと思っております。そういったことも含めまして、まずは、現在、御利用していただいている方を中心に御案内を差し上げているといった状況でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

この駐車場は、あくまでも臨時ですので、当然、期間的なものを設けておられると思うのですけれども、期間というのは、どのくらいまで見られているのですか。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

お答えいたします。

町有地をお借りして運営してございますが、特に後ろの期間というものは設けてはございません。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

細かい駐車場のことばかり質問して申しわけないのですけれども、私、よく通りますので、すぐそばに住んでいますので、路上駐車があるのかとか、その辺をよく見たり、駐車場がどのくらい満杯になっているのか、空きがどういう状況かというのを確認しつつやっていますので、質問させていただきました。

次に、前回の質問時に今年度中にアンケート調査を実施するということで伺っているのですけれども、アンケートは実施されているのですか。もし、されているとすれば、公表はいつごろされるかというのをお聞かせください。

○議長（茅沼隆文）

子ども・子育て支援室長。

○子ども・子育て支援室長（中戸川進二）

お答えいたします。

本年1月に、実際、アンケートは実施してございます。今、伺っているのは、御協力いただいたのは58名と伺っております。結果がまだまとまっていないという状況でございますので、結果がまとまり次第、また適宜、情報提供を差し上げたいと考えております。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

よろしくお願ひしたいと思ひます。今後とも子育て環境の一端を担っていただき、ぜひ進めていっていただきたいと思ひます。

次に、パレットガーデン自治会館の利用についてですけれども、自治会館として様々な企画等を考へて管理運営をされていると思ひますけれども、この3月にパレットガーデン自治会館のパレットガーデンそのものの北側に新しいマンションができて、これは既に入居が始まっているのですけれども、大体63世帯だと思うのですけれども、数から言えば、全世帯が自治会に加入されると岡野自治会を上回ってしまうのではないかとと思ひます。これだけではなくて、パレットガーデンの周辺にはオルテンシアさんをはじめ、大きなマンションが4棟ほどあります。

私、周辺のマンションでも理事会やマンションの総会というのをやっているかどうか分かりませんが、当然、開催される機会があるのではないかとと思ひます。今はパレットガーデン自治会館として運用されていますけれども、こういう集合体の方々にも全く同じ条件でこの自治会館を使わせることは可能でしょうか。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

議員の御質問にお答えいたします。

現在、指定管理者、パレットガーデン自治会で運営、維持管理をしているというところがございます。その使用規程の中では、自治会の自治会員の方の利用にしましては無料という形で運営をしております。そういう意味で、新しくできるマンションはパレットガーデンの自治会ではないという、下島地区に入るということになろうかと思ひますので、そこのあたりは、同じような自治会活動であったとしても全く同じというようなことは、自治会のくくりとして、それはないと思ひます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

今、課長答弁、しごく当然な答弁だと思うのですけれども、やはり私、数の問題を相当気にするのです。あれだけ大きな世帯というか、あれだけ大きな、下島自治会は大いなのですけれども、そこにまた新たに、全部が入ればですよ、63世帯も加入されるということで、実は、総会なんかをやっても立ち見席ができるほどの集会になってしまうのです。

予算書・決算書を見ますと、名称が駅東口地域集会施設、こうなっていますよね。別にパレットガーデン自治会館でなくても、地域集会施設でもいいような気がするのです。地域集会施設をパレットガーデンさんが管理・運営していただくというような形でもよろしいかと思ひますけれども、名前がパレットガーデン自治会になっていますと、やはり65万円からのお金を払って毎月毎月やっているわけですから、では、ほかの集合体の方は何も特典がないのではないかとと思われても不思議で

はないと私は思うのです。

これは、もう今の課長答弁でも、当然、見直すことはないだろうと思うのですけれども、私としては一住民、同じ住民としては、やはり、えこひいきのあるような政策はいかななものかなと思っていますので、集合体の皆さんには全く同じ条件で使っていいよという回答を得られるようにお願いしたいと思います。これは、答えは結構です。

これで1項目めの質問を終わらせてもらいます。

それでは、2項目めの「駅前通り線の進捗状況について」を伺います。

開成駅前通り線については、平成27年12月定例会議において一般質問をしたところでございますけれども、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業として調査対象地域を6ヘクタールとしており、平成31年度土地区画整理事業認可を目標に事業を計画し、具体的対応として地権者との合意形成を図り進めていくと。また、平成28年度のまちづくり町民集会でも、今年度は現況測量及び意向調査を実施しているとのことでしたが、現在、どの程度進んでいるのか、以前示された計画どおりなのか、現在の進捗状況を伺いたい。1、平成28年度の進捗状況は、2、地元説明会の予定は。

以上です。よろしくお願いします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、湯川議員の2項目めについてお答えをいたします。

都市計画道路駅前通り線は、南部地区土地区画整理事業区域と開成駅西口とを結ぶ沿道の商業系土地利用を誘導する道路として、また幹線道路ネットワークを構成する道路として重要な路線であります。また、駅前通り線を含めた開成駅周辺地区は、駅前近隣商業地域として町の顔となる重要な地区であり、第五次開成町総合計画においても活力ある街並みを形成していくための事業を推進する地区として位置づけております。

駅前通り線の未着手区間については、中家村下島線の一部区間とともに、既に都市計画決定を受けている62.4ヘクタールの開成駅周辺地区土地区画整理事業の未実施地区として、町施行による沿道土地区画整理型街路事業としての整備を計画しております。また、沿道土地区画整理型街路事業として実施予定の整備手法は、南部地区土地区画整理事業や開成駅周辺地区土地区画整理事業等で実施をした、従来の保留地処分方式ではなく、土地所有者の総資産額を補償する減価補償方式になると想定をしておりますので、地権者の皆様の十分な御理解が必要だと考えております。

なお、減価補償方式とは、おおむね次の内容であります。本地区は駅周辺の既成市街地で、既に都市的土地利用がされております。このため、区画整理事業前後において、公共施設の整備により事業後の宅地面積は減少するものの、事業効果によ

る宅地の単価はあまり上昇しないため、地区全体の宅地の面積に平均単価を掛けた宅地総価額は減少してしまいます。このような地区を減価補償地区といい、宅地総価額の減少分を減価補償金として地権者に交付をいたします。本事業では、減価補償金相当額をもって宅地を先行買収し、公共用地に充てることにより事業前と事業後の宅地総価額が同じになるようにし、可能な限り減価補償金を交付しなくて済むようにする、という方式であります。

一つ目の平成２８年度事業の進捗状況について、お答えをいたします。

今年度は、現況測量及び意向調査を実施しております。また、事業実施に先立ち昨年の１２月に、現況測量及び意向調査の範囲約４ヘクタールの地権者の皆様８７名を対象とし、測量作業、建物調査及び意向調査の内容、今後の予定などについて説明会を行いました。説明会は１２月９日と１０日の２日間開催し、２日間合わせて３５名の方に出席をいただきました。

二つ目の地元説明会の予定について、お答えをいたします。

現況測量及び意向調査の結果が取りまとめ次第、来年度、早いうちに説明会を開催する予定であります。駅前通り線については、昨年度までに平成２７年２月及び平成２８年２月の２回、説明会を開催し、駅前通り線周辺地区の位置付け、課題や整備方針、移転補償費等について説明をいたしました。

来年度は、区画整理の事業の実施に向け区画道路や公園などの公共施設の計画、配置を検討する設計案を作成する予定であり、その後も施行地区、設計の概要、事業施行期間、資金計画などを定める事業計画案の作成などを実施してまいります。あわせて、説明会・勉強会を重ねて、地元住民が主体となった事業となるよう、まちづくりの核となる人々の意識を高め、事業化へ向けて合意形成を図り、その上で町施行の事業を協働で推進する地元組織を立ち上げ、県西地域の副次拠点にふさわしい緑あふれる駅前通り線周辺のまちづくりを進めていきたいと考えております。

以上であります。よろしくお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○３番（湯川洋治）

ありがとうございました。

まず、昨年の１２月に地権者と第３回目の説明会を行ったと。対象者が８７人に対して２日間で３５名が出席されたということなのですが、大分少ないような気がするのですが、どういう周知のされ方をされたのか教えてください。

○議長（茅沼隆文）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（山口一夫）

それでは、お答えいたします。

周知の方法でございますが、地権者の方に個人個人に郵送をいたしまして周知をしているということで、対象者の８７名の方、全てに説明会の開催日時等が行き渡

るように周知をしているところでございます。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

まず申しあげたいのですけれども、なぜ地権者だけの説明会だったのかということです。こういう言い方をするというのは、私も一般質問、これで2回目、道路についてはやっています。ほかの同僚の議員も質問しています。下島の町民集会では、庁舎問題の時間より、はるかに道路の時間のほうが長かったのです。これだけ関心が非常にあるのにもかかわらず、地権者だけを集めて説明会をやってしまうと、私どもの立場が全くないと思うのです。いわゆる「おまえ、知らなかったのか」というようなことで問われることが想定されますので、これは傍聴でも何でも結構ですので声かけをしていただいて、自治会の関係者及び関心ある議員の方に周知をしていただいて、次回からはぜひ呼んでいただきたいと。これはいかがですか。

○議長（茅沼隆文）

まちづくり部長。

○まちづくり部長（芳山 忠）

すみません。事前に情報が行っていなかったということでございましたら、おわびを申しあげなければならないかなと思います。基本的に説明会と申しますのは、やはり区画整理事業でございますので、地権者の方に対してダイレクトに通知を差し上げて開催をさせていただくというのが本旨であろうかとは思いますが、議員の御意見もよく分かりますので、また、そういった情報提供は努めさせていただきます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ぜひ、次回から、よろしくお願いいたします。

次に、平成28年2月に第2回の説明会をされて、また町民集会でも町からの説明があったが、事業がほとんど進んでいないですね。状況として現況調査とかアンケート調査とかとあるのですけれども、現況調査というのは、いつ行われたのですか。

○議長（茅沼隆文）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（山口一夫）

それでは、お答えいたします。

今年度でございますけれども、12月に説明会を開催いたしまして今年度の事業内容を説明してございます。具体的に、今年度は測量調査、現場に入って地形、地物の状況を測量するというのを1点と、あわせまして現在の地権者の皆さんの意

向確認ということで、この事業につきましては、町長答弁でもございましたとおり、土地をまず先行買収するということがございますので、今の土地利用の状況とあわせて今後の土地の売却も含めた意向ですね、意向について聞いているところでございます。

今、事業が進んでいないということでございますけれども、今年度の現況測量をした後に、計画でございますけれども、来年度は測量調査結果に基づいて公共施設の配置等をする区画整理設計を計画してございます。その中で形が徐々に見えてきて、地元の皆様にも具体的な事業の姿が見えてくるのではないかとということで考えてございます。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

確認なのですけれども、さっき町長の答弁では、要するに現況測量とアンケートは実施していると、こう言われたのです。だから、私は、現況調査をいつされたのですかと、こういうふうに聞いているのです。

○議長（茅沼隆文）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（山口一夫）

それでは、お答えいたします。

12月の説明会の後、これから測量調査に入ります、これからアンケート調査を実施しますということで地権者の方に御了解を得た中で、今、測量調査作業が終わった中で、今は設計というか、内容ということで測量作業の結果をまとめているところでございます。アンケートにつきましても、12月19日付けで調査依頼を発送いたしまして、今、結果が集まっているところでございまして、集計しているところでございます。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

私の言いたいのは、27年度に第1回をやって28年度で現況調査というのが、どのぐらいの時間がかかるのか聞きたかったのです。要するに、12月に説明して今はもう3月ですから、当然、終わっているといえ、何日で測量が終わりましたとかとおっしゃっていただければ、じゃあ、1年間でやった事業がこれだけですかということを言いたかったのだけど、全然対応がよく分からないのですけれども、そんなに時間はかかっていないと思うのですよね。だから、もう少し早め早めの対応をしていただきたいということで質問したかったのですけれども、その辺は、また後で資料等を下さい。それから、アンケート調査の内容についても、公表できる

ものであれば教えていただきたいと思います。

今後の流れについてですけれども、平成31年度、土地区画整理事業の認可を当然、目指していると思われるのですけれども、31年度に向けた計画が本当に順調に進んでいるのでしょうか。そういう疑問の声を聞いているのです。だから、この辺は、31年度に向けて一生懸命努力していますというのは分かるのですけれども、本当に31年度、大丈夫ですかというようなことに対しては、どういうふうにお答えしていただけますか。

○議長（茅沼隆文）

まちづくり部長。

○まちづくり部長（芳山 忠）

議員御指摘の31年度のいわゆる土地区画整理事業の認可、認可申請から認可に向けてということで、スケジュール上は地権者の皆様にもそのようにお示しをしているところでございます。町長答弁にもありましたように、たびたびの説明になりますけれども、この土地区画整理事業は、これまで開成町が行ってまいりました保留地処分方式と全く異なりまして、いわゆる減価補償方式という、非常に地権者の皆様の御協力と御理解がないと全く進まない事業でございますので、そういった部分が非常に時間がかかるだろうということを想定しております。ですから、町としても31年度の事業認可に向けて精いっぱい努力はいたしますが、ぜひ関係者の皆様にも御協力をいただいた中で進めていきたいと、そのように考えております。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

確かに、前も副町長が説明されて、田んぼを区画整理するわけではないので、市街化を今やっているので大変なのだということは私も十分承知していますので、それは時間のかかるのはあれですけれども、私が一番気にしているのは、27年から28年まで何もなかったのではないかと考えています。

実際に、地権者の声というのを聞いていますよね。自分の自宅を改修したいのだと、だけど、こういう計画があつて数年後には引っ越さなくてはいけないというようなこともケースとして考えられるので、手のつけようがないのだと、何とかしてくれよというような声もやはり聞くのです。そうした場合に、説明会や意見交換会でいろいろなことを聞いて、いろいろな意見交換をしていますけれども、なかなか進んでいないということで地権者の中ではいら立っている方が結構おられますので、その辺も配慮しながら進めていただきたいと思います。

私、下島地区の町民集会、先程申しましたけれども、庁舎建設問題より、はるかに大きな時間を割いて質問されていましたよね。ですから、町中の町民が関心を持っているわけですので、内容については、本気の取り組みというのがどの程度なのかということをぜひ町長から一言いただきたいと思いますけれども、よろしいですか。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

下島のまちづくり集会の中でも、今、言われたように多くの時間を、そのような形で質疑を含めて御意見がありました。一番難しいのは、他人の土地の問題に対して、外から言える部分はあるのですけれども、当事者になると総論賛成各論反対も含めて様々な御意見をお持ちの方がおられますので、そういう人たちにきちんと納得をして説得をして、了解を得て御協力を得るような形に持っていかなければならぬ。全体整備が進みませんので。そういうことも含めて、何もやっていないわけではなくて、きちんと、そういうことは丁寧に説明をさせていただきながら、地権者一人ひとりに。

そのような形で今、進めさせていただいておりますので、地権者の皆さんのそういう御意見も、また了解いただけるようなことを地元の議員さんにもお願いはしていきたいので。そういう中でうまく進んでいけば良いのかなと思っておりますので、今後とも、ぜひ御協力をよろしくお願いします。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございました。

私、この問題は冒頭申しましたように二度目の質問ですので、もう骨子も少なかったですから時間が大分残っていますけれども、これで終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（茅沼隆文）

これで湯川議員の一般質問を終了いたします。